

日本式医療拠点の構築に向けた取組

平成25年11月11日

経済産業省
商務情報政策局

事業性調査

案件形成

事業化

経産省の政策支援対象

➤ 現地制度調査

➤ 実証調査

➤ マーケティング調査

➤ 体制構築

➤ 事業計画立案

➤ 資金調達

➤ 現地法人設立

➤ 運営準備

➤ 運営開始、現地人材育成

➤ 黒字化

➤ 投資回収

➤ 周辺地域への展開

(対象とする地域の考え方)

- 日本が強みを有する先進医療(がん、生活習慣病、検診など)が未整備な地域。
- 医療費を負担できる豊富な中間層が存在する地域。
- 現地政府との良好な協力関係構築が可能な地域。

⇒ ASEAN諸国、ロシア、中国、中東などの地域

事業性調査事業による支援

- ◆ 新興国を中心に日本式医療拠点の構築のための「事業性調査」の実施を支援。
- ◆ 平成25年度は、15カ国において29件を実施。
(うち、昨年度からの継続9件、平成25年度からの新規20件)

カザフスタン

- ・高度がん診断センター建設プロジェクト

ロシア

- ・日ロ先端医療センタープロジェクト

中国

- ・先進医療・検診システム輸出プロジェクト
- ・日本式睡眠時無呼吸症候群診療サービス提供事業
- ・病理診断提供プロジェクト
- ・リハビリテーション展開事業
- ・歯科技工サービス・歯科技工教育提供プロジェクト
- ・再生医療実用化プロジェクト
- ・高度健診システム海外展開プロジェクト

韓国

- ・呼吸リハビリテーションシステム/COPD在宅ケア展開事業

ASEAN

ベトナム

- ・日本式内視鏡診断トレーニングシステム普及プロジェクト
- ・日本式周産期医療提供プロジェクト
- ・地域医療情報ネットワーク普及プロジェクト

タイ

- ・高度病理診断支援サービス普及プロジェクト
- ・日本式透析海外展開事業プロジェクト

インドネシア

- ・先進的消化器・肝臓病診断治療日尼ジョイントセンタープロジェクト

ミャンマー

- ・日本式白内障診療パッケージ事業
- ・日本式乳がん診療パッケージプロジェクト
- ・救急医療サービス整備実証調査

シンガポール

- ・日本式人工関節海外展開プロジェクト

バングラデシュ

- ・日本式病院設置プロジェクト

インド

- ・家庭用医療機器/簡易型医療機器普及促進プロジェクト
- ・日本式がん総合診断・治療センター構想プロジェクト

ブラジル

- ・日本式大腸がん検診システム普及プロジェクト
- ・日本式心臓健診システム提供プロジェクト

トルコ

- ・病院PPP事業参画プロジェクト

サウジアラビア

- ・透析センター設立プロジェクト

UAE

- ・がん診断/治療機器実地調査

事業化調査の事例：カンボジア

- カンボジア初の救急救命センター設立のための調査。
- 医療機器や情報システム等の導入にかかる各種規制等調査、医療サービス提供を通じた実証調査、日本の医療サービスの認知度向上等を実施。

事業性調査

案件形成

事業化

経済産業省の調査事業にて支援

現地の事業環境・制度調査

- 経済・人口動態
 - 医療制度/保険制度
 - 法規制/許認可
 - 市場規模/患者数
- 等

デモンストレーション (実証調査)

- 日本人医師の派遣
 - 現地での機材調達
 - 医療行為の提供
 - 現地人の教育
- 等

【統計調査(医療者数)】

	人口 (万人) (2009年)	実数	
		1万人あたりの 医師	1万人あたりの 医師
カンボジア	1,400	3,393	2
ラオス	630	1,614	2.5
ベトナム	8,600	107,131	12.5
ミャンマー	4,800	23,709	5
日本	12,800	264,515	21

【デモの様子】



外交ツールを活用した支援

- ODAによる現地保健・医療分野のインフラ整備
- 閣僚ベースでの支援依頼
- カンボジア政府高官の日本招聘

資金調達面での支援

過去の事業化調査事業(平成23・24年度)の成果が事業化に結びついた事例

- ▶ ウラジオストクHOKUTO画像診断センター(平成25年5月28日開業)
- ▶ カンボジア北原国際病院救急救命医療センター
- ▶ インドネシア偕行会日本式クリニック

カンボジアにおける救急救命医療センター

北原国際病院

- ・プノンペン中心部
- ・病床数40床
- ・診療科:脳神経外科、一般内科、
整形外科、人間ドック等
- ・病気治療のため海外渡航を強いられていたカンボジア富裕層／中間層を国内で治療



ロシア(ウラジオストク)における画像診断センター

HOKUTO画像診断センター

- ・脳ドック、心臓ドックを含む総合検診センター
- ・極東連携医療機関の依頼に基づく「画像診断」



インドネシアにおける日本式クリニック

日本式クリニック(“さくらクリニック”)

- ・ジャカルタ中心部
- ・診療科:一般内科、糖尿病内科、
消化器内科、循環器内科、
健康診断
- ・日系の患者、現地富裕層を対象



- ◆ 経済成長に伴って新興国における疾病構造は生活習慣病にシフト。我が国が強みを有する検診やがん治療分野等の需要増加が見込まれる。
- ◆ このため、特にASEAN域内において、進出を支援する日本式医療拠点のネットワーク化を図り、域内の患者への幅広い浸透を目指す。

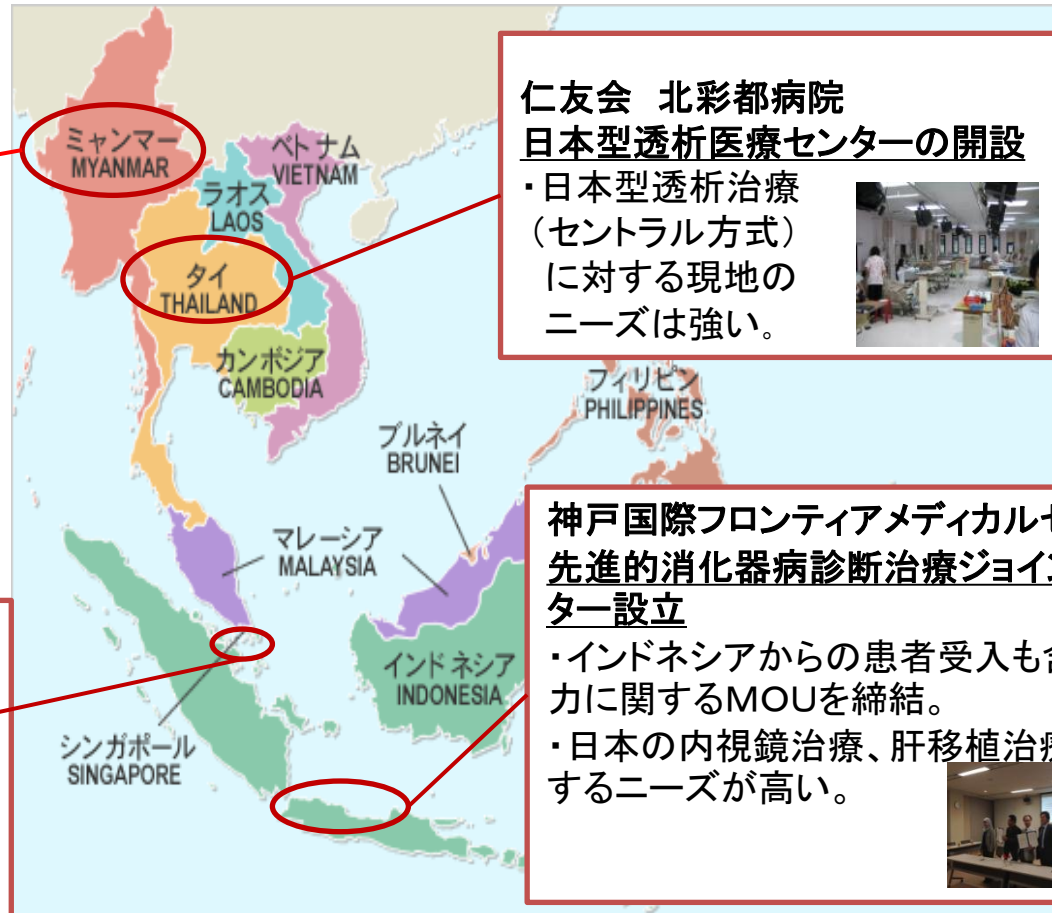
(株)メディヴァ、岡山大学、 亀田メディカルセンター 日本式乳がん診療パッケージ事業

- ・乳がんはミャンマーにおける女性のがんのトップで死亡率も高いが、殆ど対策がとられていない。
- ・日本の高性能診断機器、高い読影技術に対する期待が高い。



神戸国際フロンティアメディカルセンター 日本式クリニックの開設

- ・Mt. Elizabeth Hospital内に、肝移植を始めとする日本式医療を提供するクリニックを開設予定。



仁友会 北彩都病院 日本型透析医療センターの開設

- ・日本型透析治療（セントラル方式）に対する現地のニーズは強い。



神戸国際フロンティアメディカルセンター 先進的消化器病診断治療ジョイントセンター設立

- ・インドネシアからの患者受入も含め協力に関するMOUを締結。
- ・日本の内視鏡治療、肝移植治療に対するニーズが高い。

